

研修履歴

浩一さん

2010.10. 新農業人フェア（札幌）で相談

2011.04. 短期農業体験（6日間）
（その後も1泊で数回農業体験）

09. 長期農業体験（6ヶ月）

2012.04. 鶴川研修農場で実践研修

2013.11. 独立就農（1年6ヶ月）
（就農時46歳）

真紀さん

2011.09. 長期農業体験（2年）

2013.11. 独立就農（就農時46歳）

英明さん

2013.09. 短期農業体験（9日間）

経営規模

農地 2ha

施設 ビニールハウス 133坪×8棟

作物 トマト・春レタス

農業従事者 本人、妻（真紀さん）、長男（秀明さん）

住宅

農地と合わせ中古住宅を購入
圃場に隣接



（新規就農第一人者）
「小笠原さんの存在は大きかった」

新規就農2組目の関さんご夫妻は浜頓別町ご出身。

浩一さんは専門学校卒業後、電機メーカー営業・修理業を25年間務めた後に、農業で生計を立てようと考え、退職を決意。

■長年勤めていた会社を辞め、農業を始めようとした理由は何だったのでしょうか？

真紀さん「浩一さんのお仕事」転勤が多くて。

仙台、盛岡、座間、札幌と転々としていたんだけど、子供たちも大きくなったことだし、そろそろ一つの場所落ち着きたいなって思っています。」

浩一さん「25年くらい前からプランターでトマトとナスを育てていて、転勤で札幌へ移り住んだときには市民農園で栽培していたんだよね。」

最初は50平米から始めて、3年目には100平米借りて10種類くらいつくっていたかな。」

浩一さんは出勤前と退勤後には毎日農園に寄り、休日にはご夫婦で一日中作業されていたとのこと。

再び別の地へ転勤が決まる前に、趣味だった農作業を仕事にしようと考え始めたそう。

インターネットで知った北海道担い手センターからの情報で「新農業人フェア」が札幌で開催されることを知り、ご夫婦で参加。

■たくさん市の町村が集まる中から、なぜむかわ町に決められたのでしょうか？

浩一さん「じつは、違う町の話も聞いたりもしていたんだけど、その町のブースが混んでいてね。それで側にあったむかわ町ブースで話しを聞いてみたんだよね（笑）」

いろいろと話を聞いていううちに、通年型栽培が出来ること、農家・役場・農協の連携がとれていることが魅力に感じたとようなのですが…

浩一さん「新規就農の実績がある小笠原さんの存在は大きかった。人柄ももちろん、年齢も近いし前職の職種も似ていたり。前例があるという安心感があったね。」

実際に小笠原さん圃場へ見学へ行き、その後は浩一さん単身での短期農業体験も小笠原さん圃場で何度か受入れてもらい、交流も深まった。

短期農業体験を終え、長期農業体験からは真紀さんも浩一さんとは別の農家さんで研修を始めた。浩一さんは長期農業体験後に実践型研



修農場での1年6ヶ月間の研修を経て、独立。

■独立就農1年目は設備もあまり整っておらず、2年目の今年に比べると思った通りにいかないこともあったようです。

浩一さん「こんちくしょーって思いながらやっているよ（笑）」

■昨年は苦労も多かったとのことですが、今年はいかかでしょうか？

浩一さん「今年には地下水ポンプを設置して、水やりの手間がだいぶ楽になったよ。今のところ（トマトの）調子はいいよ。」

息子の秀明さんは、サラリーマンを辞め、家の農業のお手伝いを始めて今年で1年目。家の農業を継ぐかどうかはまだ未定とのことですが、今後数年は農業のお手伝いを続けるつもりでいるとのこと。

■秀明さんは農業に興味はあったのでしょうか？



秀明さん「まったくなかったです。両親が農業を始めたのをきっかけに、小笠原さんのところで短期農業体験をしたときに（農業が）おもしろいなって思っています。今に至るのはその時の短期農業体験が大きいです。」

■最後に、関さんの今後の計画をお聞かせください。

浩一さん「息子が本格的に農業をするつもりであれば、3棟くらいハウスを増やそうとは考えている。今は空いている畑があるから、どうしようか悩み所かな。」